

地域おこし協力隊活動実績報告書

隊員氏名： 谷川 英愛

- ・活動期間：令和3年9月1日～令和4年3月31日  
(委嘱日：令和3年9月1日)

1. 隊員の活動テーマ

活動テーマ	定住促進 ※共通
より具体的なミッション	① デジタルデバイド（情報格差）の解消 ITスキルを活用し、インターネットなどの情報通信技術を使える人と使えない人の間に生じる情報格差を解消する取組を行う ② 情報発信のメディアづくり ウェブなどを用いて田舎暮らしの魅力や地域情報を国内外に発信する

2. 活動の検証

(1) 定住促進への直接的効果

移住等の相談を受けた件数	1 件 ( 2 人)
移住希望者に現地案内などの活動を行った件数	件 ( 人)
うち移住につながった(つながる可能性のある)人数	件 ( 人)
具体的な相談の内容	知人の紹介 ・南丹市移住希望 ・定住促進サポートセンターを案内
今後の展開や展望または反省点など	南丹市のアピール(ネット媒体・SNSやブログ等)を積極的に行い、移住や田舎暮らしに興味を持ってもらえる広報を心がける。 ただ、メッセージアプリで気軽にコンタクトが取れてしまう分、間口を広げればとんでもないメッセージ量&着信がある為、SNSの管理運用について再考する必要がある。

(2) 具体的な活動について

活動を展開した地域数と名称	地 域 数： 2 地域 地域の名称：( 美山町宮島地区、日吉町上胡麻地区 )
移住者受け入れや地域振興への意識が高まったと思われる地域数と名称	地 域 数： 2 地域 地域の名称：( 美山町宮島地区、日吉町上胡麻地区 )
今後継続的なアプローチにより意識が高まる見込みの地域数と名称	地 域 数： 2 地域 地域の名称：( 美山町大野他地区、八木町八木地区 )

活動内容	現在の課題	期待する成果・展望
出張スマホ教室開催	スマホの操作が分からないため、簡単な申請（ワクチン予約やマイナ関連申請）が出来ず諦めてしまう	マイナンバー各種申請、ワクチン接種等を地域の方々がスマホで簡単に出来るようになる
I T個別サポート	PC 操作、スマホ操作を教えてほしいという要望が多い、個人対応には限界がある為「相談会」を開催する予定	生活力の向上、こういった活動を地道に行っていく事で「地域おこし協力隊」の活動をより多くの人に知ってもらおう
子供向け I T 教室準備	長期に渡る場合のスケジュール管理、資料作成、開催者との綿密な打ち合わせが必要	ネット犯罪、炎上等のリスクを回避する為の自衛方法を学び IT に触れる子供達に楽しんでもらう

### 3. 活動表

活動年	実績・効果、目標
1年目	目標「地域と地域おこし協力隊制度を理解し、多くの人と知り合う」 ・活動内容 デジタルデバイド解消に向けた地域の方々に寄り添ったITサポート（スマホ教室等）を行う事、他地域の成功事例等を参考に地域おこし協力隊の積極的な情報発信を行う事、セミナーや地域おこし協力隊会議等に参加し交流を深める事
2年目	目標「情報発信のメディアづくり」 ・活動内容 地域おこし協力隊アカウントの整理を行い、国内外に田舎暮らしの魅力や地域情報を発信する事、ITサポートの窓口をオンラインで作成しニーズに合ったサポート&情報公開を行う
3年目	目標「情報発信やサポートの基盤を安定させる」 ・活動内容 これまでに行ってきた情報公開やサポートの土台を安定&向上させ、南丹市地域おこし協力隊の知名度向上、IT関連の社会貢献事業を広く行う
任期後に得たい成果・変化（自分自身・地域・関係者）	・積極的な情報発信（イベントや名所）を行うことで、地域観光&移住に繋げる活動を行う ・南丹市でテレワークやITスキルを活用した事業が可能だとアピールすること（自身がモデルケースとなり発信）で技術者の移住や地域の雇用に繋がりたい